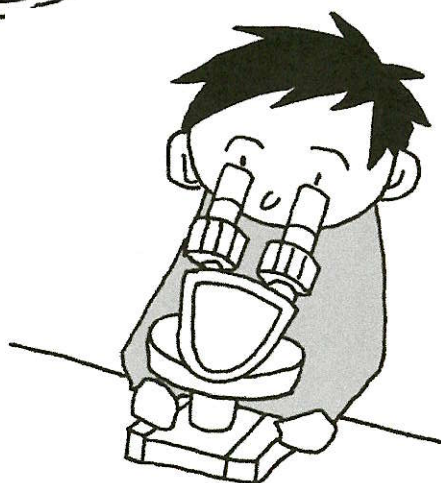
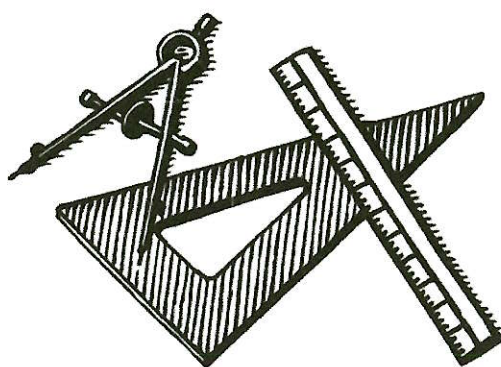
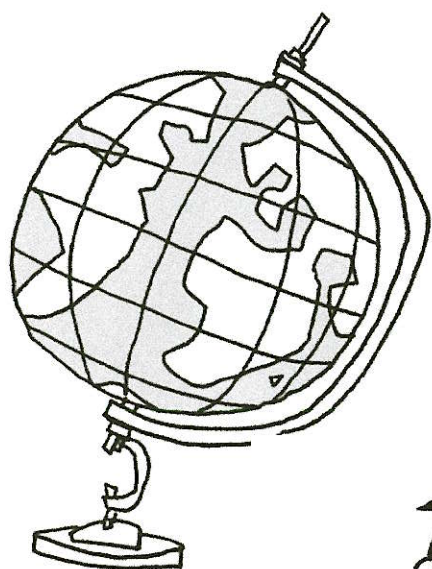


SYLLABUS

令和8(2026)年度



枚方市立中宮中学校 2年

<本校における通知表評価の方法>

大阪府公立高等学校入学者選抜で目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）が導入されることに伴い、枚方市では通知表の形式及び評価の算出基準を市内の中学校で統一しています。この評価方法は、各教科が設定した評価の観点及び評定（総括的評価）の到達目標に照らしてその実現状況を見るものです。

【観点別学習状況評価】

◎A, B, Cの記号により3段階で評価します。

A：十分満足できる	…	観点ごとの満点の	75% 以上
B：おおむね満足できる	…	//	40% 以上
C：努力を要する	…	//	40% 未満

【評定】

各観点の観点別学習状況評価を数値化し、その合計点と観点別得点合計の両方を考慮して算出する。（両方の数値ともに満足することが必要）

①ABCの数値化 A：3点 B：2点 C：1点

②両方のカッティングは以下のとおりとする。

評価	内 容	観点評価合計	観点別得点(素点)合計
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

※各教科の評価材料については、「シラバス」（授業の大まかな学習計画のこと）を参照

【3学期の通知表】

3学期の通知表は、観点別学習状況評価及び評定ともに年間を通しての評価となります。また「総合的な学習の記録」「行動の様子」についてもあわせて記載します。

【通知表みほん】※実物はA4の大きさです。

学期

年 組 番

学習のようす

教科	観点別学習状況	評価	評定
国語	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
社会	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
数学	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
理科	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
音楽	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
美術	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
保健体育	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
技術・家庭	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
外国語(英語)	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		

特別活動の記録

学級活動	
委員会	
部活動	

出席のようす

	授業日数	欠席日数	出停・忌引	出席日数	遅刻	早退
学期						
計						

校長印	担任印

※3学期の通知表は、「道徳」「総合」の評価、「行動の様子」「特別活動の記録」「所見」がかわりますので、デザインが変更されます。

枚方市立中宮中学校 第2学年 国語科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

自分の見方・考え方、他者の見方・考え方を、言葉によって表現する、理解するという言語活動を通して、国語で物事を正確に理解し、適切に表現するという資質、能力を伸ばす。

- (1) 言葉の意味や文章の読み取り、表現の仕方を学び、国語の特質を理解し、適切に使えるようになる。
- (2) 他の人と関わる中で、言葉で伝え合う力を身につけ、考える力や想像する力を高める。
- (3) 国語の大切さを知り、言葉に対する感覚を豊かにし、大切に丁寧に言葉を使えるようになる。

○指導の重点目標

- ・ 「学び」とは、君たちが「すでに知っていること・体験していること」と「新しく学ぶこと」をつなげていくものです。だから、答えは一つではありません。学んでいく君たちの数だけ答があり、「学び」があります。授業を「受ける」だけでなく、自らすすんで、考え、学んでいきましょう。
- ・ 「対話」は、「相手との対話」、「自分との対話」「教材との対話」の三つがあり、それぞれの活動を通して、自分の「学び」を深めていきましょう。
- ・ 答を見つけるために、みんなが考えを出し合うことが最も大切です。お互いを認め合い、みんなが安心して発言できる学習環境をつくっていきましょう。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- ・ 教材ごとに「つきたい力」を確認し、「つきたい力」をつけるために、自ら積極的に取り組む。
- ・ 「わかること」より「わからないこと」を大切に、「わからないから教えて」と訊くことから授業が始まる。
- ・ 訊かれたら、その人がわかるまで丁寧に教える。教えてもらったなら、もう一度自分の言葉で説明してみる。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	1.豊かに想像する 2.わかりやすく伝える 3.ものの見方・感性を養う	・名づけられた葉 ・セミロングホームルーム ・グループディスカッション ・宇宙に行くための素材 ・人間は他の星に住むことができるのか ・短歌の世界・短歌十首 ・壁に残された伝言	・言葉の力を伸ばすために、積極的に語句の意味や使い方、漢字などを学ぼう。 ・自分の意見や考えを根拠を明確にしなが、書いたり話したりするなどの表現する力をつけよう。
2 学 期	4.論理的に考える 5.古典に学ぶ 6.情報を関連付ける	・味は味覚だけでは決まらない・プレゼンテーション ・枕草子・徒然草 ・平家物語 ・漢詩の世界 ・書写 ・手紙の書き方 ・100年後の水を守る ・飲み水は不足しているか ・水問題に関する資料 ・投稿文	・ペアワークや班学習で、ほかの人の意見を聞くことで、自分の考えや意見を見つめ、さらなる深い学びを得る。
3 学 期	7.読みを深め合う 8.視野を広げる 9.振り返って見つめる	・大阿蘇 ・小さな手袋 ・動物園でできること ・論説文 ・走れメロス ・情報誌	・国語の授業の中に自分自身なりのおもしろさやがんばる点を見つけ、前向きな姿勢で取り組もう。

*授業の進捗状況によっては、学習する教材の順番が変わる可能性があります。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	30%（定期テスト・小テスト・授業課題など）
② 思考・判断・表現	40%（定期テスト・小テスト・授業課題など）
③ 主体的に学習に取り組む態度	30%（授業態度・提出物など）

枚方市立中宮中学校 第2学年 社会科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

○指導の重点目標

- ・課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会への関心を高める。
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できるようにする。
- ・調査や諸資料から、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけさせる。
- ・社会に見られる課題の解決に向けて、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力を養う。
- ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- ・学校 … 教科書・資料集などを使いながら、自分自身や班で考えたこと、授業のポイント(要点)を中心にノートに記入し、理解を深める。
- ・家庭 … 授業の前日・当日、たとえ10分でも教科書を読み、基礎的な知識の定着をはかる。新聞やニュース、インターネット等を通して、社会情勢に関心を持つようにする。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学期	【地理】日本の地域的特色と地域区分 【歴史】近世の日本	【地理】さまざまな視点から見た日本の地域的特色 【歴史】安土桃山～江戸時代前半の歴史	【地理】世界や日本の様子や地図の読み方などは、教科書や資料集などを讀んだり、資料を読み取ったり、授業の中で考えたことを復習したりして、理解を深めましょう。テレビやインターネットで世界や日本の生活や産業・文化を紹介するような番組やサイト等は、現代の世界や日本各地の様子を学べるので活用しましょう。
2 学期	【地理】日本の諸地域 【歴史】近世の日本・開国と近代日本の歩み	【地理】日本の諸地域の産業や生活 【歴史】江戸時代前半～後半の歴史	【歴史】時代・人物・できごとを理解して、歴史の流れやつながりを説明できるようにしましょう。また、資料を読み取ったり、授業の中で考えたことを復習したりして、理解を深めましょう。ただ単なる暗記ではなく、歴史で学んだことを活用して新たな視点を見つけましょう。
3 学期	【地理】日本の諸地域・地域の在り方・地域調査の手法 【歴史】開国と近代日本の歩み	【地理】日本の諸地域の産業や生活 【歴史】江戸時代後半～明治時代の歴史	

○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	定期テストの「知識・技能」等 (35%)
② 思考・判断・表現	定期テストの「思考」、レポート等 (35%)
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業に取り組む姿勢・振り返りシート ノート、その他提出物等 (30%)

枚方市立中宮中学校 第2学年 数学科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

○指導の重点目標

- ・ 計算力などの基礎学力の定着をめざす。また読解力や書く力・伝える力をはじめとする表現力の育成をめざす。
- ・ 自ら学びに向かう力の育成、他者とのコミュニケーションによって深まる思考力、さらにレポート課題などを通して、学習内容を自分の興味や関心と結びつけ考えられる力の育成をめざす。
- ・ 数学的な見方、考え方を、日常生活の中で利用する姿勢を育む。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- 学校 …… しっかり授業を聞き、考えましょう。また自分の考えを他者にもわかりやすく伝え、自分の表現力・思考力の向上をめざしましょう。
- 家庭 …… 授業で間違えた所、分からなかった所を教科書や問題集などで復習しましょう。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	・ 式の計算 ・ 連立方程式 ・ 一次関数	・ 式の計算 ・ 文字式の利用 ・ 連立方程式の解き方 ・ 連立方程式の利用 ・ 一次関数とグラフ	四則計算を正確に素早くできるように、毎日取り組みましょう。 文章の内容を式に表すこと、また式を使って説明することができるようにしましょう。
2 学 期	・ 一次関数 ・ 図形の調べ方 ・ 図形の性質と証明	・ 一次関数と方程式 ・ 一次関数の利用 ・ 平行と合同 ・ 図形の性質の利用 ・ 証明 ・ 三角形	関数ではともなって変わる2つの数量関係を表・式・グラフで表現できるようにしましょう。 証明では、合同条件をしっかりと理解して何度も取り組みましょう。
3 学 期	・ 図形の性質と証明 ・ 場合の数と確率 ・ 箱ひげ図とデータの活用	・ 四角形 ・ 図形の性質と証明の利用 ・ 場合の数と確率 ・ 確率の利用 ・ 箱ひげ図	確率ではまずは具体的な作業を通して考えます。その後は樹形図や表を書いて考えるようにしましょう。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	割合
① 知識・技能	定期テスト	40%
② 思考・判断・表現	定期テスト・授業や課題への取り組み	30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業や課題への取り組み	30%

枚方市立中宮中学校 第2学年 理科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

身近な自然の現象について、自分の言葉で説明できるようにし、基本的な実験・観察の技能を身につけ、ICTについても活用できるようにする。

○指導の重点目標

- ・身近な自然の現象について、自分の言葉で説明する力を身につける。
- ・実験・観察の技能を活用し、課題を解決する力を身につける。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- 学校 ……自分の考えを持つようにしましょう、他人の考えを聞いてより深めていこう。
 家庭 ……その日に学習した内容が身のまわりの事象とどのようにつながっているか考えてみよう。

○学習内容と学習のポイント

		単元名	学習内容	学習のポイント
理科 T	1 学期	[生命]生物の体のつくりとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の体をつくる細胞 ・植物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の体はどのようにできているか。生物が生命を維持するためのしくみは、どのようになっているかを理解しよう。動物が刺激を受けとってから反応するまでのしくみは、どのようになっているか理解しよう。
		[物質]化学変化と原子・分子	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の成り立ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・物質を分けていくと、どこまで分けることができ、何からできているか理解しよう
	2 学期	[物質]化学変化と原子・分子	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量 	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも物質は何からできているか。物質の変化では、何がどのように変化しているか。物質が変化するとき、質量の変化に規則性はあるかを理解しよう。
	3 学期	[エネルギー]電流とその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・電流の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界 	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも電流・電圧はどのような性質があるか。電流の正体は何か。電流と磁界によってどのようなはたらきが生じるかを理解しよう。
理科 A	年間	[地球]地球の大気と天気の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地球をとり巻く大気の様子 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季 	<ul style="list-style-type: none"> ・雲のでき方を中心に、天気が変わる仕組みを学ぶ。その知識を基に、様々な情報から天気を予想できるようになり、最後は天気予報をしよう！

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	
①知識・技能	定期テスト・授業の成果物（提出物）	40%
②思考・判断・表現	定期テスト・授業の成果物（提出物）	30%
③主体的に取り組む態度	授業の成果物（提出物）	30%

※成績は理科Tと理科Aの合算で行います。

枚方市立中宮中学校 第2学年 音楽科シラバス

○学習目標 (教科の到達目標)

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ生活や社会の中の音や音楽・音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

○指導の重点目標

- ・ 幅広い音楽活動を通して、音楽に対する感性を磨き、豊かな情操を養う。
- ・ 生活や社会の中にある音楽や音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

○授業の進め方 (※授業を受けるにあたっての留意点)

学校 … 実技重視ですので、思い切って表現しましょう。挑戦の気持ちを忘れずに。
 家庭 … 幅広い音楽に関心を持ちましょう。

○学習内容と学習のポイント

単元名	学習内容	学習のポイント
歌 唱	「歌詞と音楽の関わりを考え、情景を思い浮かべながら表現豊かに歌おう。」 「声部の役割や曲想の変化を捉え、どのように表現するか考えながら合唱しよう。」 「言語や音楽の様式の違いに気付き、曲にふさわしい発声や表現を工夫して歌おう。」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を積み重ねることを意識しましょう。忘れ物は学習の積み重ねが難しくなるため、忘れ物がないように気をつけましょう。 ・ 学習内容、自分やクラスメイトの演奏などをしっかり「聴く」ことを意識しましょう。 ・ 欠席した場合、自分で学習内容を確認しておきましょう。
器 楽	「アルトリコーダーの高音域や井・bの付いた音の運指を身に付け、安定した音で演奏しよう。」 「音の広がりや響きの変化を感じ取り、曲想に合った演奏を工夫しよう。」	
鑑 賞	「曲想や構成の変化に注目し、音楽から生まれるイメージとその根拠を関連付けて説明しよう。」 「歌舞伎とオペラを比較し、総合芸術としての特徴を捉え、歌舞伎の魅力を伝えよう。」 「世界の諸民族の音楽を比較し、それぞれの特徴を捉え、選んだ音楽の魅力を伝えよう。」	
創 作	「音の特徴や重なり方、構成を工夫して、まとまりのあるリズムアンサンブルをつくろう。」 「言葉の抑揚を生かし、自然な流れのある旋律をつくろう。」	

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	
① 知識・技能	実技テスト・小テスト・提出物など	35%
② 思考・判断・表現	実技テスト・提出物など	35%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・提出物など	30%

枚方市立中宮中学校 第2学年 美術科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。美術の応用的な能力を伸ばして感性をさらに豊かにし、美術文化についての理解を深め、他者につながる豊かな情操を養う。

○指導の重点目標

- ・自分の思いを的確に表現するために、基礎的な知識・技能を身につける。
- ・意図や工夫をもって構想を練り、見通しをもって制作をおこなう。
- ・暮らしの中の美術や文化について理解を深め、感性を磨く。
- ・作品を展示、鑑賞することで、違いを認め合い、仲間を大切にす豊かな心を育む。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校…チャイムまでに自主的に制作準備をして、見通しをもって課題に取り組む。

また、毎回の授業で振り返りを行い、継続性のある学びを行う。

すべての道具や作品を大切にする。

家庭…家庭学習での課題をしっかりと制作し、提出する。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	デザイン 鑑賞	ピクトグラム 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとめで伝わるピクトグラムを考える。社会でどのようなピクトグラムが使われているか学び、学校で必要なピクトグラムを表現する。 ・夏休みの宿題
2 学 期	鑑賞 <中間テスト> 絵画	日本の美術史 金屏風	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史や美術品を学び、国際理解や文化を継承していく。 ・日本の伝統的な美術である金屏風から歴史や文化に触れ、感じ取ったことをもとに自分だけのオリジナル金屏風を描く。
3 学 期	彫刻・立体 鑑賞	抽象彫刻 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じ取ったイメージや体験をもとに、抽象彫刻で中学生の自分を表現する。 ・日本の歴史や美術品を学び、国際理解や文化を継承していく。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法 及び 評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	作品、テスト（知識）など 45%
② 思考・判断・表現	アイデアスケッチ、テスト（実技）、授業の振り返り鑑賞シートなど 30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業の振り返り、提出物、授業へ取り組む姿勢など 25%

枚方市立中宮中学校 第2学年 保健体育科(男)シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

○今年度の重点目標

- ・ 明確な課題目標を設定し、その目標達成に向かって協働的・主体的に取り組む態度を養う。
- ・ ICTを活用する場面を設定し、生徒が主体となって問題を解決する力を養う。

○指導の重点目標

- ・ 基礎的な運動能力や総合的な体力を養う。
- ・ 仲間を大切にし、互いに助け合って技術を向上させる。
- ・ スポーツに興味・関心を持たせるとともに、生涯にわたってスポーツを主体的に楽しむ生徒を育てる。
- ・ 保健や環境衛生面での知識を持たせる。
- ・ 自ら学び、考え、行動する力を身につけさせる。
- ・ 体育理論の分野を取り入れ、スポーツを総合的に学ばせる。

○学習内容と学習のポイント

学 期	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	・ 体づくり運動 ・ 体力テスト ・ ハードル走 ・ 水泳 ・ 保健・体育理論	・ 集団行動 ・ 体力テスト ・ 短距離、ハードリング等 ・ クロール、平泳ぎ等 ・ 健康な生活と病気の予防	・ 運動の方法や理論（ルール）について理解するとともに、技術の向上を図る。 ・ 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。
2 学 期	・ リレー ・ 剣道 ・ ハンドボール ・ 器械運動 ・ 持久走 ・ 保健・体育理論	・ ハードル ・ 礼儀作法等 ・ 基本スキルの習得 ・ 跳び箱 ・ タイムトライアル ・ 傷害の防止	・ 課題目標の達成に向かって、互いに学び合い、主体的に取り組む。
3 学 期	・ ソフトボール ・ ダンス ・ バドミントン ・ 体育理論・保健	・ ボール捕球、バッティング等 ・ 現代的なリズムのダンス ・ ルール理解、ゲーム等 ・ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	

○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	技能テスト、単元テスト 50%
② 思考・判断・表現	振り返りやレポート、単元テスト 25%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、欠席、見学、遅刻、忘れ物等 25%

○年間評価 1学期…90点 2学期…150点 3学期…60点の割合で評価します。

枚方市立中宮中学校 第2学年 保健体育科(女) シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

○今年度の重点目標

- ・明確な課題目標を設定し、その目標達成に向かって協働的・主体的に取り組む態度を養う。
- ・ICTを活用する場面を設定し、生徒が主体となって問題を解決する力を養う。

○指導の重点目標

- ・基礎的な運動能力や総合的な体力を養う。
- ・仲間を大切にし、互いに助け合って技術を向上させる。
- ・スポーツに興味・関心を持たせるとともに、生涯にわたってスポーツを主体的に楽しむ生徒を育てる。
- ・保健や環境衛生面での知識を持たせる。
- ・自ら学び、考え、行動する力を身につけさせる。
- ・体育理論の分野を取り入れ、スポーツを総合的に学ばせる。

○学習内容と学習のポイント

学 期	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・体力テスト ・跳び箱 ・水泳 ・保健・体育理論 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動・体力テスト ・50m 走、リレー・ルール等 ・開脚跳び、かかえ込み跳び、台上前転 ・クロール・平泳ぎ ・健康と環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の方法や理論（ルール）について理解するとともに、技術の向上を図る。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・課題目標の達成に向かって、互いに学び合い、主体的に取り組む。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道 ・陸上 ・長距離走 ・ダンス ・保健・体育理論 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀作法等 ・ハードル走 ・タイムトライアル、インターバル走 ・ダンス ・傷害の防止 	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・ハンドボール ・バドミントン ・保健・体育理論 	<ul style="list-style-type: none"> ・パス、シュート、ミニゲーム ・パス、シュート、ミニゲーム ・ルール理解、ゲーム ・運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全 	

○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合	
① 知識・技能	技能テスト、単元テスト	50%
② 思考・判断・表現	振り返りやレポート、単元テスト	25%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、欠席、見学、遅刻、忘れ物等	25%

○年間評価 1学期…90点 2学期…150点 3学期…60点の割合で評価します。

枚方市立中宮中学校 第2学年 技術・家庭科シラバス

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

○指導の重点目標

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を見いだす。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校 ……しっかりと話を聞き、授業に興味関心を持ち前向きにうけること。特に実習では、勝手な行動をしないで指示通り行うこと。

家庭 ……家の手伝いを積極的にすること。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
技術	<ul style="list-style-type: none"> ・材料加工 ・生物育成に関する技術 ・エネルギー変換 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材加工 ・生活と生物育成 ・作物の栽培 ・電気エネルギー ・電気機器への利用 ・テーブルタップ ・ラジオの製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な木製品を安全に製作できる。 ・生活と生物育成の関係を理解し、作物の育成に必要な土や肥料のを知る。 ・エネルギーを利用している機器がわかり、どのようなエネルギーを、どのように変換しているかがわかる。 ・エネルギー変換を利用した製作品を製作する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの食生活 ・私たちの消費生活と環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割と中学生の栄養の特徴 ・中学生に必要な栄養素を満たす食事 ・調理のための食品の選択と購入 ・日常食の調理と地域の食文化 ・持続可能な食生活 ・私たちの消費生活 ・責任ある消費者になるために ・持続可能な消費生活を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素のはたらきを理解し、毎日の食生活に生かす。 ・生鮮食品や加工食品の特徴を知り、食品を適切に選ぶことができる。 ・安全や衛生に注意し調理を行う。 ・地域の食文化や行事食を知り、生活に生かす。 ・販売方法と支払い方法の特徴や契約について理解する。 ・生活における環境負荷を理解し、持続可能な社会に必要な生活スタイルを身に付ける。 ・消費者の権利と責任を理解し、自分の消費行動を工夫する。 ・持続可能な消費生活を目指して課題と解決方法を考え、消費生活を工夫する

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	作品・作品レポート・定期テスト 40%
② 思考・判断・表現	作品・レポート・発表・定期テスト 30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	実習・レポート・振り返り 30%

枚方市立中宮中学校 第2学年 外国語科シラバス

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

○指導の重点目標

- ・外国語（英語）を学ぶことを通して、広く世界を知り、世界の様々な人々を尊重し、交流することの大切さを身につけるようにする。
- ・生徒のモチベーションを上げられるような題材を選び、学習した英語を実際のコミュニケーションに活用できるように指導する。
- ・NET(外国人英語実習助手)中心の授業を取り入れ、より実践的な英語コミュニケーション能力を身につけさせる。
- ・ICT 機器やデジタル教科書の活用について研究し、実践していく。
- ・一人ひとりの実態に合わせ、細かく、丁寧な指導を行う。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校 ・忘れ物をせず、きちんと話を聞き、授業に積極的に参加すること。

ペアやグループ活動などにおいて、友達と協力して意欲的に取り組むこと。

家庭 ・授業内容の復習や授業で出された宿題に加え、問題集やタブレット学習にしっかり取り組むこと。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	① Program 1 ② Program 2 ③ Program 3 ④ Our Project 4	① 未来形、動名詞 ② 接続詞 ③ 不定詞 ④ 発表	① 未来の表現や「～すること」の表現を用いて、表現できるようになりましょう。 ② 接続詞を使い、英文をつなげて表現できるようになりましょう。 ③ 不定詞や動名詞の違いを理解し区別できるようになりましょう。
2 学 期	① Program 4 ② Program 5 ③ Program 6 ④ Our Project 5	① be surprised to～ must/ must not have to/ don' t have to ② how to look 形容詞、become 名詞 lend +人+もの ③ 比較 ④ 発表	① be surprised to をもちいて驚きを表現したり、must や have to を用いてすべきことを表現できるようになりましょう。 ② how to をもちいて仕方を説明したり、look 形容詞や become 名詞、lend+人+ものを用いた表現ができるようになりましょう。 ③ 様々な比較表現の用法を理解し、表現できるようになりましょう。
3 学 期	① Program 7 ② Program 8 ③ Our Project 6	① 副詞の比較表現、teach+人+how to ② 受け身の表現 ③ 発表	① 様々な比較表現の用法を理解し、表現できるようになりましょう。 ② 「～られる、される」の表現を理解し、表現できるようになりましょう。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	40% 定期テスト、小テスト、言語活動 等
② 思考・判断・表現	30% 定期テスト、小テスト、言語活動 等
③ 主体的に学習に取り組む態度	30% 提出物、授業に取り組む姿勢 等